

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

# ブンカ

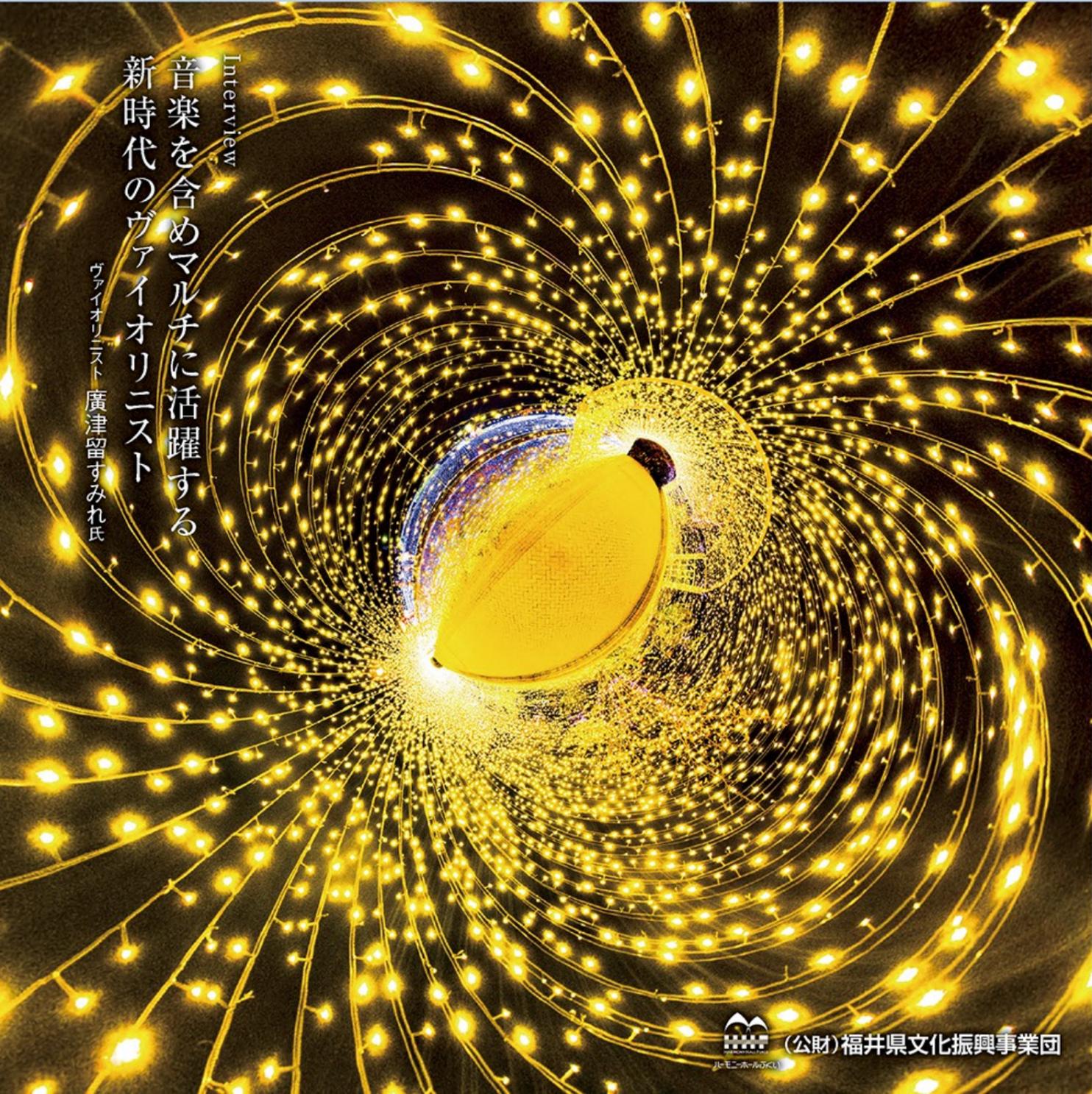
BUNKA

vol.  
95  
2024  
winter



旬の文化が集うコミュニティマガジン 季刊  
ブンカ  
BUNKA vol.95 2024.12.15

発行/公益財団法人福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」  
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎077-638-0200 <https://www.hhfp.jp>



Interview  
音楽を含めマルチに活躍する  
新時代のヴァイオリニスト  
ヴァイオリニスト 廣津留すみれ氏



(公財)福井県文化振興事業団



ハーモニーホールふくい



光のトンネルは長さ約70メートル。地面に青い電飾を道わけて海をイメージし、蒸気機関車と新幹線が一定時間ごとに切り替わる演出も。北陸最大級のイルミネーションイベントともいわれ、県外から訪れる人も多い。



ミライエ  
会期/11/3~12/25  
(12月は毎日点灯)  
会場/敦賀市金ヶ崎緑地  
(敦賀市金ヶ崎町1-1)  
点灯時間/18:00~21:00  
アクセス/  
●JR敦賀駅から徒歩25分  
●北陸自動車道敦賀ICから車で約10分  
(会場周辺に駐車場あり)

未来へ希望を託す  
港町のイルミネーション

冬の敦賀港にきらびやかな光のトンネルが現れたのは、2014年のこと。未来への願いを込めた「ミライエ」は年々規模を拡大。今年ではLED電球約65万個を使い、トンネルのほかさまざまな光のオブジェが幻想的な世界を繰り広げます。

太古の昔に大陸から使者が訪れ、江戸時代は北前船の寄港地として繁栄した敦賀。明治期には日本海側初の鉄道が敷かれ、ヨーロッパへの最短経路「欧亜国際連絡列車」の発着駅として重要な役割を果たしました。また敦賀港は、ポーランド孤児やユダヤ難民が上陸し、市民たちが救いの手を差し伸べた「人道の港」でもあります。

その敦賀に「新たな賑わい」と生まれたミライエは、今や4万人が訪れる冬の風物詩に。地元高校生が電飾を飾り、点灯の燃料用に市民から廃食油を集めるなど、町ぐるみで取り組みます。折しも北陸新幹線敦賀開業の今年、港町の光は一層華やかさを増したかに見えます。

※表紙の写真は、魚眼レンズを付けたカメラで4方向360度撮影したものをパノラマ合成したものです。

Essay

福井を愛した宇野重吉  
蟹と蕎麦と友情と

文 朝倉由希



あさくら ゆき ●福井生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする―社会の課題と文化をつくる現場から」(学芸出版社、2020)など。

宇野重吉(1914~1988年)

は、足羽郡下文殊村(現在の福井市文殊地区)の生まれである。戦後の1950年劇団民藝を創設。俳優、演出家として演劇界をリードし、テレビ、ラジオ、映画などでも幅広く活躍した。

旧制福井中学(現藤島高校)時代の同級生に、後に福井新聞社社長となる吉田弥氏がいた。同じ年に生まれ、誕生日も1週間ほどしか違わなかった二人は仲が良く、その後も友情が続いた。宇野が民藝を初めて福井へ引き連れて公演を行ったのは1955年のこと。新劇になじみがなく偏見もあった当時、福井での公演を実現させるのには相当の苦労があったはずであるが、当時福井新聞社取締役となっていた吉田弥氏の強い思いが初公演を実現させた。以降福井での公演は定期的に行われ、福井新聞社がバックアップしてきている。

宇野は福井に来るたびに新聞社に寄り真つ先に社長室に行ったという。それほど仲が良かった。59歳に



来福の際に一緒に写真に納まる宇野(前列右)と吉田氏(同左)／昭和36.11.8かつき魚屋 (福井県文書館所蔵)

して吉田弥社長は亡くなるが、弔辞の中で宇野は「戦後僕らの劇団が福井で芝居を出来るようになったのも君のおかげだ」と述懐している。大衆時代、食えない役者であった宇野を支えたエピソードも紹介され、友情の深さが偲ばれる。同社に限らず、地方新聞社が文化やスポーツの向上発展に果たしてきた役割は大きい。が、民藝と福井の縁は、二人の友情を出発点に、弥社長の没後も遺志を受け継いだ歴代社長と社員によって継続してきた。

宇野は晩年、「宇野重吉一座」ののほりをたてて旅公演に出る。都会ばかりが文化の中心となってしまっている風潮へ疑問を抱き、公演機会の少ない地域へと全国津々浦々出かけ、民衆に生の演劇を届けた。病魔に苦しみながらも、一座は約1年の間に116カ所206回の公演を実現。「地方に芝居を」という思いの奥には、故郷の原風景があったのかも知れない。福井県内は1986年10月と11月の2期に分けて7市町

を回った。調整の都合で2回に分けるを得なかったのだが、「おらが郷里のうまいもの、特に蟹は、10月ではまだ食べられぬ。旅公演の日程づくりはこうあってほしい」と、蟹を味わえる時季に再び福井を訪れることを喜んだという。

宇野の福井自慢は有名で、特に蟹や蕎麦は福井が最高と言つてゆずらなかつた。他の地域の蟹をほめようものなら、それは福井の蟹が移動しただけ、と言いつつ。民藝の福井公演も蟹の季節に合わせていることが多かった。自分が食べたばかりではなく、団員仲間に「福井のうまいもん」を自慢したい思いが強かつたのではないだろうか。

1987年12月2日、福井市文化会館で「馬鹿の夢」を自ら演出、主演した。舞台上では名演を見せたが、舞台裏では点滴、酸素吸入の処置を受ける状態であったという。そのわずか1カ月後、帰らぬ人となった。最後まで演劇に生き、福井を愛した名優であった。

CONTENTS

- 1 今号の表紙
- 2 Essay 福井を愛した宇野重吉 蟹と蕎麦と友情と 文 朝倉由希氏
- 3 Interview 音楽を含めマルチに活躍する 新時代のヴァイオリニスト ヴァイオリニスト 廣津留すみれ氏
- 5 ウィーン・イヤ-291 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演レポート
- 7 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 9 越のルビーアーティスト 大谷研人氏 (ピアニスト)
- 10 私の好きなハーモニーホールふくい 小清水桃子氏 (オルガニスト) / カーテンコール
- 11 アートシーン (キーパーソン) 心からコンサート実行委員会 森川おさるさん  
(アートの息吹) ギャラリー「和紙屋」(越前市) / (アートプロジェクト インフォメーション)
- 13 2025年 1~3月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 14 Information

ヴァイオリニスト

## 廣津留 すみれ

Sumire Hirotsuru

音楽を含めマルチに活躍する  
新時代のヴァイオリニスト

ひろつる・すみれ ●大分市出身。高校在学中にNYカーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学(学士)卒業、ジュリアード音楽院(修士)修了。世界的チェリストのヨーヨー・マと度々の共演を経て、米国にて演奏活動を拡大。The Knightsのメンバーとしてグラミー賞2022にノミネート。日本でも東京フィルハーモニー交響楽団や関西フィルハーモニー管弦楽団などの共演や「徹子の部屋」「題名のない音楽会」などに出演。国際教養大学特任准教授、成蹊大学客員准教授。「羽鳥慎一モーニングショー」全曜レギュラー。著書に「超・独学術」など多数。

将来を決めたきっかけは  
ヨーヨー・マとの出会い

廣津留すみれさんは、世界中で演奏活動を行いながら、著書の出版やテレビ・ラジオ出演なども活発に展開する。新時代のヴァイオリニストです。テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」全曜レギュラーを務めているので、テレビで見たことがある、という方も多いかもしれませんが、2歳の終わりからヴァイオリンを習い始め、12歳で九州交響楽団と共演。高校時

代にはカーネギーホールでソロデビューを果たすなど、早くからヴァイオリニストとしての才能を発揮していた廣津留さんですが、音楽の道に進もうと思われたきっかけは何だったのでしょうか。

「子どもの頃は、特に演奏家になろうと決めていたわけではありませんでした。高校卒業後、ハーバード大学に進み応用数学などを学んでいたのですが、3年生の時に世界的チェリストのヨーヨー・マと共演する機会があり、彼のリーダーシップや周りを巻き込んでいく力に感銘を受けたんです。音楽で人にメッセージを伝える術を持っていることはとても恵まれていると改めて感じ、音楽の道に進むことを決意しました」

演奏家は  
演奏ができるだけではダメ

ヨーヨー・マが創立した「シルクロード・アンサンブル」との共演も、廣津留さんに大きな影響をもたらしたといいます。「琵琶や笙、バグパイプ、ア

ラビアの弦楽器など世界各地の楽器と演奏するのですが、私がこれまで弾いてきたクラシック音楽とはまったく違う、フレキシブルで自由なものでした。

その後、私がシルクロード・アンサンブルのワークシヨップを任せられた時には、日本画の余白と日本音楽の間の取り方が似ている、というテーマのプレゼンが好評で、音楽はただ上手に演奏するだけでなく、それを取り巻く様々な文化的なコンテクストを理解し、説明できるようになる必要があると感じました」

ハーバード大学を卒業後は、ニューヨークのジュリアード音楽院に進んだ廣津留さん。ここでも、日本とはまったく違う音楽教育のあり方に触れます。「例えばレッスンで、ここはどう弾きたいのか、形容詞3つぐらいで説明してみよ」と言われるんです。自分がどのように弾きたいかをきちんと言葉で説明することが求められる。さすが、プレゼン命の国だな(笑)演奏会が終わった後のレセプションでも、そのシーズンのオペラの話や、新聞に載っていたニュースの話が飛び交います。演奏家は演奏するだけではダメなんだ、とここでも思い知らされました」

新しいものを知る喜びを  
持ち帰ってほしい

そんな廣津留さんがハーモニーホールふくいで「トーク&ヴァイオリン・リサイタル」を開催します。「トークでは、どんな事前情

報があれば演奏を聴くときに興味が持てるか、ということをお願いしたい。よく知っている曲の新しい面、また知らない曲でもこんないい音楽があったんだ、という発見を持ち帰っていただきたいですね」

好奇心旺盛で、どんなことでもとりあえずトライしてみる。相性が良ければラッキー、という明るくポジティブな廣津留さんのトークと、本場仕込みの一流のヴァイオリンを聴きに、ぜひハーモニーホールふくいで足を運んでみてください。

構成・文/室田尚子  
(音楽評論家)

2025.3/2(日)

廣津留すみれ  
トーク&ヴァイオリン・リサイタル

●大ホール/開場 14:15 開演 15:00  
●全席指定・車いす席 ¥4,000 (小〜大学生:半額)  
出演/ヴァイオリン:廣津留すみれ  
ピアノ:河野結子

(主催:FBC)

※詳細はP.8へ

ハーバード大学卒業後、ジュリアード音楽院時代の演奏会にて。



# ウィーン・イヤー291



## ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演レポート 若く、情熱的で、あたたかい ハーモニーホールふくい奇跡の1日

2024年、ハーモニーホールふくいは北陸新幹線福井・敦賀開業を記念して、「ウィーン・イヤー291」と銘打ち、音楽の都ウィーンにちなんだ公演・企画を実施しました(各公演及び関連企画については左頁参照)。その中でも、福井がかつてない感動に溢れた11月10日「アンドリス・ネルソン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」公演をレポートします。

### 熱心な生徒たちが参加 青少年プログラム

コンサートに先立って開催されたのは、福井県内の小・中学校、高等学校に通う児童・生徒を対象にした青少年プログラム。まず、「ウィーン・フィルハーモニーコンサート」の全国放送で解説を務める小宮正安氏による講座が行われ、欧州各地を支配したハプスブルク家を中心としたウィーンでの音楽の広がりや、ウィーン・フィルの始まりなどについて学ぶことができた。講座の後には、ウィーン・フィル楽団長で第1ヴァイオリン奏者のダニエル・フロシャウアー氏と、チェロ奏者のベルンハルト・直樹・ヘーデン



青少年プログラム/小宮正安氏による講座の様子。約550人の児童・生徒が真剣な面持ちで参加した。

ボルク氏へのインタビューが行われました。ご存知の方も多かもしれませんが、ウィーン・フィルは運営や芸術的決定をすべて楽団員に委ねる自主運営の組織です。ウィーン・フィルの団員になるためには、まず、ウィーン国立歌劇場に所属して2〜3年の活動のうち、団員による入団オーディションを受けなければなりません。ヘーデンボルク氏は、「ありのままの自分をみせて気に入ってもらえるかどうかというチャレンジだったが、入団が決まった時には、みんなが家族のように温かく迎えてくれた」と語ってくれました。

### ウィーン・フィルは 進化し続ける

さあ、いよいよ本番です。客席には老若男女、学生から年配の方まで、様々な年齢層の人たちがいるのが印象的でした。皆さんオシャレで、また、和服の女性が何人もいらっしゃったのも、さすが福井だなと思いました。プログラムは、「ムソルグスキー」モスクワ河の夜明け」でスタート。続くシヨスタコーヴィチの「交響曲第9番 変ホ長調」は、様々な楽器が活躍するため、純粋に器楽的な面白さを楽しめ



ホワイエでは、県内の菓子店とコラボしたウィーン菓子や福井の銘菓を販売し、県内外の人々で賑わった。

る作品。作品に対する知識がなくても、ウィーン・フィルの技術や表現力の凄さを実感できたのではないかと思います。後半はドヴォルザークの「交響曲第7番ニ短調」。私が驚いたのは、ウィーン・フィルとはこんなに若々し

く情熱的な音を奏でるオーケストラだったのか、ということ。弦の美しさや典雅な響きといった伝統はしっかりと受け継ぎつつ、今までにない新しいエネルギーを感じたのです。公演後、初の女性コンサートマスター、アルベナ・ダナイロヴァ氏にこの点について尋ねてみると、「多くのメンバーが定年退職し、10年前とは比べ物にならないくらい若い団員が増えているのがその理由のひとつではないでしょうか」とのこと。確かに、若い団員や、女性団員の姿も目立っていました。アンコールではヨーゼフ・シュトラウスのワルツ「我が人生は愛と喜び」とヨハン・シュトラウス2世の「トリッチ・トラッチ・ポルカ」の2曲を披露し、

### 27年ぶりに来福した 団員の姿も

終演後には場所を移して歓迎レセプション・パーティが開催されました。福井の名物のおろしそばや焼き鯖寿司、地酒に舌鼓を打ち、三國節に合わせて踊る団員の姿も、実はウィーン・フィルが来福するのは、ハーモニーホールふくい開館以来27年ぶり。その時にもメンバーだったという第2ヴァイオリン奏者のティボール・コヴァー

チ氏にお話を聞くことができました。「27年前にも印象に残ったのは、ハーモニーホールふくいがとても素晴らしい響きを持っているということ。世界で最も響きの良いホールのひとつでしょう。そして聴衆の皆さんが音楽を愛し、作品を理解しようという姿勢が伝わってきたことも素晴らしいです！」

客席にいるすべての人が音楽で繋がったウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演。それは、福井の聴衆の皆さんと、ウィーン・フィルのメンバー、そしてマエストロ・ネルソンとが生み出した、奇跡のような時間でした。取材・文/室田尚子(音楽評論家) 写真/office Photo Style(古川智伯)



満席の大ホールは熱気に溢れ、アンコール後には観客の皆様からスタンディングオベーションが贈られた。



青少年プログラム/フロシャウアー氏(中央)とヘーデンボルク氏(右)からお話を伺う様子。

### ウィーン少年合唱団

5.30 [木] 19:00開演 大ホール  
出演/ウィーン少年合唱団(合唱)、オリヴァー・シュテッヒ(カベルマイスター)

### ヤメン・サーディ ヴァイオリンリサイタル ウィーンから愛をこめて

6.28 [金] 19:00開演 小ホール  
出演/ヤメン・サーディ(ヴァイオリン)、中川優芽花(ピアノ)

### ハーモニー プンカさろんタイプアップ企画 「音楽の都」ウィーンをの秘密を探る 〜ウィーン・イヤー291に寄せて〜

10.24 [木] 13:30開演 小ホール  
出演/お話し:小宮正安、演奏:吉田珠代(ソプラノ)、伊藤明美(ピアノ)

### フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

12.13 [金] 19:00開演  
会場/美浜町生涯学習センター なびあす  
出演/フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

### 関連企画

「ビジネスパーソンのためのクラシック音楽アカデミー2024」タイプアップ企画  
第44回異業種交流会  
「一流が集うウィーンへの誘い  
〜通訳者が語るコミュニケーションの極意〜」

7.30 [火] 会場/ザ・グランデュアーズフクイ  
出演/講師:松田暁子、演奏:嶋川菜友子(クラリネット)、橋本光瑛(ピアノ)

### ウィーン伝統菓子フェア in 西武福井店 〜音楽の都で多くの作曲家に愛されたお菓子を召し上げ〜

10.2 [水]〜8 [火] 会場/西武福井店 1階=特設会場

「ビジネスパーソンのためのクラシック音楽アカデミー2024」タイプアップ企画  
ビジネスパーソンのための文化芸術セミナー  
「〈芸術の都ウィーン〉を支えた経済と音楽」

10.25 [金] 会場/福井商工会議所ビル 国際ホール  
出演/お話し:小宮正安、演奏:吉田珠代(ソプラノ)、伊藤明美(ピアノ)

### ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン 2024

### アンドリス・ネルソンス指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

11.10 [日] 15:00開演 大ホール  
出演/指揮:アンドリス・ネルソンス  
管弦楽:ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
曲目/ムソルグスキー(ショスタコーヴィチ編曲):  
オペラ「ホヴァンシチナ」第1幕への前奏曲「モスクワ河の夜明け」  
ショスタコーヴィチ:交響曲第9番 変ホ長調 op.70  
ドヴォルザーク:交響曲第7番 ニ短調 op.70(B 141)



東京チェロアンサンブル

2025年の幕開けは、チェロの響きで祝おう

東京チェロアンサンブル(TCE)は2008年に同世代の仲間たちによって結成された10人組のグループ。チェロアンサンブルのために書かれたオリジナルの作品というものは多くありませんが、オーケストラ作品の編曲なども織り交ぜながら、唯一無二の音楽をお届けします。同じ楽器なのに、曲によって組み合わせが変わると響きも変わってくるのがTCEの魅力のひとつ。今回はアルゼンチンタンゴからバインスタインの「ウエスト・サイド・ストーリー」組曲まで、バラエティに富んだ選曲でお贈りします。終演後にはニューイヤークンサート恒例の花のプレゼント(公開抽選)もあります。2025年は、楽しくオシャレなチェロアンサンブルの音色でスタートさせてみませんか。

協賛: FBC

## 東京チェロアンサンブル New Year Concert 2025

2025.1.5 日

14:15開場 15:00開演/大ホール  
全席指定・車いす席 ¥6,000  
(小~大学生:半額)

特別協賛会員・友の会会員 2割引

出演/東京チェロアンサンブル  
(荒井 結、清水詩織、高木慶太、中 実穂、新倉 鐘  
堀 沙也香、三宅依子、宮坂拓志、宮田 大、横山 桂)  
曲目/クレンゲル:讃歌、テーマとバリエーション  
アルゼンチンタンゴ(チャルロ:フェジェ(蛇腹)  
モーレス:ブエノスアイレスの喫茶店、  
ラ・カレシタ(回転木馬))  
鷹羽弘晃:蜚なすほのかに聴きて「日本の旋律による音風景」  
バインスタイン:ウエスト・サイド・ストーリー組曲



チケット発売中



ピアノ: 大谷研人



バリトン: 井上雅人



構成・演出・出演: 鈴木大介

俳優の鈴木大介が企画・脚本・演出を手がける作曲家が主役の音楽劇シリーズがいよいよ福井に上陸。今回上演されるのは、天才ピアニストとしても知られるフランツ・リスト。19世紀

のバリを中心に大スターとして活躍し、また数々の貴婦人たちの恋愛でも知られるリストの情熱的で波乱に満ちた生涯を、映像なども使いながら舞台上で演じていきます。音楽を担当するのはバリトン歌手・井上雅人と、越のルビーアーティストでもあるピアニスト・大谷研人。お芝居の中にリストのピアノ曲や歌曲が織り込まれ、観ているうちに自然に曲が生まれた背景や、リストの人となりがわかってくるような構成になっています。

リストが大好きという方はもちろん、あまり聴いたことがないという方も楽しめる舞台です。

協賛: 福井新聞社 FBC 福井テレビ

## 音楽×お芝居 「リスト～愛の夢～」

2025.2.15 土

13:15開場 14:00開演/小ホール  
全席指定・車いす席 ¥3,500(学生 ¥1,500)

出演/構成・演出: 鈴木大介  
バリトン: 井上雅人  
ピアノ: 大谷研人  
曲目/リスト: ラ・カンパネラ、愛の夢  
おお、愛しうる限り愛せ ほか

チケット発売中



ヴァイオリン・トーク: 廣津留すみれ



ピアノ: 河野紘子

## 廣津留すみれ トーク&ヴァイオリン・ リサイタル

2025.3.2 日

14:15開場 15:00開演/大ホール  
全席指定・車いす席 ¥4,000  
(小~大学生:半額)

出演/ヴァイオリン・トーク: 廣津留すみれ  
ピアノ: 河野紘子  
曲目/ヴィヴァルディ: 「四季」から「春」  
サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン  
R.シュトラウス: ヴァイオリン・ソナタ ほか  
(主催: FBC)

チケット発売中

世界で活躍する  
マルチ・ヴァイオリニスト

現在、日本を拠点に世界中で演奏活動を展開する廣津留すみれは、ハーバード大学で修士号を取得した後、ニューヨークの名門ジュリアード音楽院で修士号を獲得。その後ニューヨークで音楽コンサルティング会社を起業した才媛です。「羽鳥慎一モーニングショー」コメンテーターをはじめとす

るテレビ出演も多く、5冊の著書・訳書を持ち、大学准教授も務める、まさに現代的なマルチ・タレント・アーティストです。

そんな廣津留すみれのリサイタルが3月2日に開催されます。ヴィヴァルディ「四季」や「ツィゴイネルワイゼン」などお馴染みの名曲とともに、音楽家として世界で活躍する彼女のトークもお楽しみに！



「ムーンナイトサーカス2023」の様子

## ムーンナイトサーカス 《パレード》

2025.1.31 金

17:30開場 18:30開演/小ホール

2025.2.1 土

13:00開場 14:00開演/小ホール

全席自由・車いす席 ¥3,500(会員割引なし)  
U-25(25歳以下) ¥2,500  
U-15(15歳以下) ¥1,000  
+1チケット(1口) ¥1,500  
(3歳未満: 膝上鑑賞無料)  
出演/金井ケイスケ、齋藤優衣  
HiROKO、神本エリ  
くるくるシルク、イッカデサーカス ほか  
演奏/影山ケンジントン、安部わたる  
川崎昭仁、スパン子  
(主催: 文化庁、(医)オレンジ)

チケット発売中

みんな一緒に楽しもう！  
見たことのないサーカス

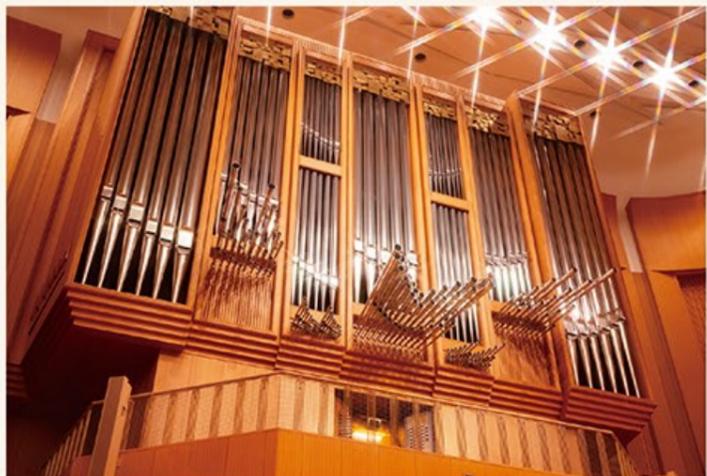
「ムーンナイトサーカス」は、東京2020パラリンピック開会式のサーカス振付を行った金井ケイスケが、2021年にスタートさせたインクルーシブなサーカス公演。エアリアルやジャグリング、チャイニーズボールなどによるアクロバティックな演技に、パントマイム、ダンス、音楽、美術などの芸術的な要素を取り入れた世界でも類を見ない現代サーカス・プロジェクトです。これまでに行った公演はどれもソールドアウト。そんな大人気演目が、ついに福井にやってきました。

企画制作にあたる「ほっちのロッヂ」は、軽井沢の在宅医療や病児保育、通所介護などが複合した「ケアの文化拠点」。その運営は福井市に拠点を置く医療法人社団オレンジが担っています。本公演もその経験を活かし、バギー席や手話通訳など充実したサポート体制でお待ちしています。生演奏に乗せたスリリングなサーカス・パフォーマンスは、赤ちゃんからご年配の方まで楽しめること間違いなし。今まで見たことのないような非日常体験をハーモニホールふくいで楽しみ下さい。



小清水桃子(オルガニスト)

こしみず・ももこ ●フェリス女学院大学音楽学部器楽学科オルガン専攻卒業及び同大学院修了。横浜みなとみらいホール・オルガニストインターンシップ修了。現在、フェリス音楽教室オルガン科講師、カトリック田園調布教会オルガニスト、日本基督教団甲府中央教会オルガニスト、日本オルガン研究会会員、日本オルガニスト協会会員。



大ホールのステージ奥上段に鎮座するパイプオルガンは、今年で設置20周年を迎えました。5,014本のパイプを有し、オルガンから突き出すように水平に伸びているパイプが「水平トランペット」です。高さ約10m×幅約11m×奥行約5.4mという、圧倒的な存在感を放っています。

私の好きな

### ハーモニーホールふくい



### 70の音色が織りなす贅沢空間

パイプオルガンの前に座り、上から降り注いでくる音に包まれると、なんて贅沢な時間なんだろうと感じ、何時間でも弾いていられるんです。  
70個もの「ストップ(音色を選択するノブ)」を持つオルガンは、国内でも珍しいです。70個あるからこそ、幅広い時代の楽曲にも対応できるし、他の楽器のために書かれた楽曲もストップを組み合わせることで、自分のイメージに近い音楽になるように音作りできています。私は、70個ある音色の中でも、福井のオルガンの特徴と言える「水平トランペット」が特に好きですね。ベタですが(笑)インパクト抜群で、弾いていて気持ちがいいです！  
オルガンによって個性は様々です。ぜひ生でパイプの音を感じてほしいですね！

### カーテンコール



2016年の初来福以来、実に8年ぶりの登場となったドリーマーズ・サーカス。メンバーそれぞれがクラシック音楽の高い教育を受け、ポピュラー音楽にも造詣が深い彼らの演奏は、北欧伝統音楽の温もりとクラシック音楽の知性が絶妙に融合した極上のアンサンブルで、会場全体が心躍るような楽しい雰囲気であふれ、お客様を幻想的な世界に誘いました。

- 3人が奏でるハーモニーが素晴らしい引き込まれた。(40代/女性)
- 伝統的なデンマークの音楽とても心地よかったです。(20代/女性)
- 老若男女が楽しめるプログラムでした。(50代/男性)
- あまり聴いたことがない曲・楽器というところとてもよかったです。(30代/男性)
- ノスタルジックでいて楽しい2拍子の魔法使いですね3人は(笑)。(50代/女性)

### デンマークの最高峰トリオ ドリーマーズ・サーカス

2024年10月20日(日) 開催



左から 中田大樹さん (福井市)  
清野早希さん

SNSの告知を見て、北欧の伝統楽器の音色を楽しみに来ました。自然と体でリズムを取りたくなる曲ばかりで、最後まで楽しく聴けました。ステージに並べられた口ウソクと舞台照明を組み合わせた演出が、まるで屋外にいるような気分。「マルヴァ」では、歌も聴けて感激です。



左から 鈴木昭博さん (名古屋)  
鈴木美咲さん  
筋原康博さん (神戸)

兵庫で初めてドリーマーズ・サーカスの公演に行きファンになり、今回は友人夫婦も誘って福井まで来ました。足でリズムを取りながら、会場全体を盛り上げる躍動感ある演奏に、思わず踊り出しました。中でも「シティ・ガーデン」は、その世界観に引き込まれました！



おたに・けんた ●福井市出身。2002年にドイツへ留学後、拠点をハンガリーに移し、リスト音楽院およびバルトーク高等音楽学校にて研鑽を積む。2009年、ベルリン国立音楽大学に入学し、2015年に首席で卒業。2018年に帰国し、2021年よりSin企画主催の舞台に出演。後進の指導にあたるかたわら、ソロ・室内楽などクラシック音楽に留まらず幅広いステージで活躍する。

## 越のルビーアーティスト 大谷研人(ピアニスト)

福井ゆかりの音楽家  
11歳でヨーロッパへ留学。  
巡り合わせの運で  
活躍のステージが広がった。

ピアノを始めたのは5歳の頃。シヨパンコンクールで演奏されたスケルトン第2番を家のビデオで聴き、「この曲が弾きたい」と思ったのがきっかけでした。9歳でピアノピアノコンペティション全国大会決勝B級で金賞を取り、11歳でドイツに留学。ハンガリーの音楽学校

を経て再びドイツに戻り、ベルリン国立音楽大学を首席で卒業しました。  
ピアノに向き合うヨーロッパの生活で印象的だったのが、ドイツで師事した恩師の言葉だそう。「曲を弾く上であなたにしか出せない音があるから、もっとそれを楽しみなさい」と言われ、自分が演奏する意味を教えてもらった気がしました。  
卒業後、大谷さんは活躍の幅を広げたいという思いから、2018年に帰国します。この時、精神的な支えになったのがハリー・モニーホールふくいの存在でした。「実は、初舞台がハリー・モニーホールふくい小ホールで、留学中でも越のルビーアーティストとして音楽祭に出演していました。16年間海外に出演していましたが、つなかりが少ない僕にとつて、この場所があることは大きかったです」と振り返ります。  
帰国してまもなくバリトン歌手の井上雅人さんに出会い、東京での活動の輪が広がったと言います。現在大谷さんが参加す



芸術鑑賞会「モーツァルティアーデ」の地方公演の様子(2023年度開催時)。2019年5月17日開催「越のルビープロジェクト 大谷研人×井上雅人ジョイントリサイタル2019」。

来年2月には、作曲家フランツ・リストの生涯を描いたシリーズ3作目を、ハリー・モニーホールふくいスペシャル版で披露します。「福井は子ども時代に戻れる大切な故郷。変わらないのどかな風景がそのまま残っていてくれることがうれしいんです」と、少年のような笑顔を見せてくれました。

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんてんふくれあい福井財団にご支援をいただいております。

公式ホームページでは「越のルビーアーティスト」の演奏動画もご覧いただけます。  
<https://www.hhf.jp/artistbank/>

- 今後の活動  
2025年2月15日(土)：音楽×お芝居「リスト～愛の夢～」/ハーモニーホールふくい  
2025年4月13日(日)：音楽×お芝居「リスト～愛の夢～」/白金音楽堂(東京)  
2025年4月20日(日)：井上雅人デビュー20周年企画II「歌曲GALA CONCERT」/音楽サロン パラバゲーン(東京)

キーパーソン

「心からコンサート」実行委員会  
森川かおるさん



もりかわかおるさん ●大分県出身。小中高校と合唱を続け、エリザベト音楽大学声楽学科を卒業。結婚を機に若狭町に移住し、地元の合唱団で歌いながら若狭町合唱少年少女合唱団を指導し、公民館や福祉施設、小学校などで演奏活動を実施。単独で始めた「心からコンサート」や、希望者の家に向く「歌の宅配便」などで活動の場を広げている。

心を和らげ明日への活力を養う音楽  
歌や演奏に触れる機会をさまざまな形で提供したい

10月14日、若狭町の「パレア若狭」で「心からコンサート Special」あたらしいコンサートが開催されました。1部は歌やピアノ、ヴァイオリンにじっくり耳を傾ける時間。2部は子どもも楽しめるプログラムで、多少のおしゃべりも可能です。ホワイエではマルシェも開かれ、誰でも気軽に足を運べる。新しい形が大好評でした。

森川かおるさんは高校・大学で声楽を学び、20年前に若狭町に移住しました。イベントなどで歌ううちに、ピアノを演奏する地域おこし協力隊員と組んで活動するように、「クラシック音楽中心からお客さんの要望でポップスや歌謡曲、唱歌なども盛り込みました」。

2020年、新型コロナウイルスが流行。家に閉じこもる日々が続きましたが、友人からの熱い要望で7月に小浜市の宮川公民館に向き、アカペラでの歌唱を再開。するとおおい町にある県こども家族館からも依頼があり、参加者か

ら「温かい歌声にとっても癒された。またぜひ、森川さんの生の歌声を聴きたい」など感激の声が寄せられたのです。「若狭町でも何かしなくては」と思い、2021年からパレア若狭のギヤラリーを借り、たった1人で「心からコンサート」を始めました。毎月1回、アカペラで歌う30分の無料演奏会。告知はSNSのみで「偶然パレアを訪れた人に聴いていただけたらという感じ」で。しかし始めてみると、聴衆ゼロの日は無く、「心が洗われました」「今度は母と来ます」などの感想が届きました。ならば幅広い世代の人が聴きやすいようにとピアノ演奏を加え、開催場所も駅などへと広げていったのです。



10月14日開催の「心からコンサート Special あたらしいコンサート」には6人が出演し、歌、ピアノ、バイオリンの多彩な演奏を披露。音楽ホールが満席となった。



三宅小学校的「オータムコンサート」では、絵本のストーリーを児童の演奏とともに歌うなど、参加型で楽しめるプログラムを盛り込んだ。

【心からコンサート】森川さんが「コロナ禍で聴けなかった生演奏を届けたい」と、2021年1月にパレア若狭で開始した演奏会。当初はアカペラの独唱だったが、後に、ピアノ奏者や他の声楽家も加わり、地域のさまざまな場所で開催されている。

■活動報告はこちらから  
「心からコンサート」で検索  
cocokara\_concert

※アートプロジェクト支援事業助成金の採択事業と活動者をご紹介します。

アートの息吹

ギヤラリー「和紙屋」(越前市)

越前和紙の間屋。杉原商店は、和紙販売以外にも職人と連携して新たな商品を開発。十代目店主の杉原吉直さんは、「和紙ソムリエ」として国内外に越前和紙を発信し、2018年には自宅の蔵を和紙製品の展示ギヤラリー「和紙屋」に改修しました。「100年以上前の建物で床の修繕が必要になったので、いっそ和紙に触れてもらえる場所に変えてみよう」と考えた杉原さん。改修を担当した福井県出身のデザイナー水谷壮市さんは、簡素な中にも揺るぎない主張を持った建物を目の当たりにし、「手をかけすぎず、やりすぎず、

暮らすような雰囲気にした」と提案しました。完成したギヤラリーは、高い天井と温かな照明が心地よい落ち着きを醸しています。ギヤラリーには新しい和紙製品を求めて国内外から人が訪れ、壁紙サイズの大判和紙も広げられるため、室内装飾用にと建築関係の問い合わせも増えたそうです。20年に完成した国立競技場の内装には、杉原商店が納入した和紙が使われています。

これまで新聞や雑誌など数々のメディアで和紙の奥深さを語ってきた杉原さん。「和紙の素晴らしさを世界に広めたい。そして和紙の仕事が面白い、継ぎたいという人を応援したい。150年の歴史を持つ越前和紙を後世に伝えていくためにも、職人の生活が成り立ち、楽しく活気のある産地へと盛り上げたい」。ギヤラリーが和紙への関心を深めるきっかけとなり、伝統技術を受け継ぐことの重みを感じてもらえればと静かに語ります。

株式会社杉原商店  
1871(明治4)年創業の和紙の間屋。早くから和紙のインテリア活用を見だし、欧米での展示会にも挑戦してきた。越前市不老町17-2  
TEL.0778-42-0032  
■ギヤラリー(要予約)  
火曜～金曜/9:00～13:00  
第4土曜日/9:00～17:00  
https://www.washiya.com/  
@sugiharawashi

※「アートの息吹」は県内企業のアートを通じた社会貢献活動をご紹介します。

アートプロジェクト インフォメーション 各イベント情報の詳細はこちらをご覧ください



2024 日独交流「神和紙」展

12/8(日)～12/22(日) 10:00～18:00  
越前和紙(神和紙)を使った現代アーティスト21名による展覧会。県内外の作家の独創的な作品が揃います。併せて斎藤陽子展、山下フサエ追悼展、プレーメン報告展を開催。  
●越前市武生公会堂記念館・越前市いまだて芸術館 ●無料  
◎日独交流神和紙展実行委員会 ☎090-1393-7633(桑野)

全国に咲かせよう「大中恩」作品の花 in ふくい～混声合唱組曲「北廻船」～

2025.1/19(日) 開場12:30 開演13:30  
大中恩作曲で福井ゆかりの混声合唱組曲「北廻船」(阪田寛夫・作詞)を委嘱・初演の地で未来へと歌い響くほか、県内外の15団体、約400名が出演。大中作品を世代を超えて集い合います！  
●ハーモニーホールふくい 大ホール ●2,000円(1枚で2名様まで入場可)  
☎090-3159-3540(前川) ✉kitakaisen2025-fukui@yahoo.co.jp

アートプロジェクト支援事業助成金は、地域文化の発信や新たな地域文化の創造、地域課題の解決に寄与することを目的に、県内各地で文化芸術を活用した地域活性化に取り組む事業を支援しています。



(公財)福井県文化振興事業団のホームページでは助成事業の一覧をご覧いただけます。



生誕105年記念「木水育男と児童画」の世界

2025.1/5(日)～1/26(日) 9:00～17:00  
鯖江市出身の美術教師・木水育男。生誕105年を記念して児童画や木水氏の作品、木水氏が関わった小コレクター運動関係作家の作品を展示します。期間中、オープニングトークやシンポジウムも行います。  
●鯖江市まなべの館 ●無料  
◎鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999、又は☎090-2036-1935(事務局木村)

トランペット☆ヒーローズ 門下生コンサート

2025.2/16(日) 13:00～16:00  
若手音楽家の発掘を目指し、プロの音楽家と共にコンサートを開催。幅広い年齢層が参加し管楽器を対象に学びの機会を提供します。地域活性化にも寄与し、音楽教育の普及に貢献します。  
●道の駅さかい 地域交流センターいねす 交流ホール ●無料  
☎090-8968-2000(谷口)

アートプロジェクト支援事業 関連企画のお知らせ

令和6年度アートプロジェクト支援事業 成果報告会

2025.3/9(日) 13:00～  
今年度、県内各地で行われたアートプロジェクトの活動報告をします。アートプロジェクトに関心のある方はもちろん、「そもそもアートプロジェクトってなんだろう？」と思った方も、ぜひこの機会に県内のアートプロジェクトの事例についてお話を聞いてみませんか？  
●福井市地域交流プラザ(AOSSA 6F) 研修室 601 A-B

アート茶会(仮称)

来年1月から毎月第3全曜日の18時30分からアート茶会(仮称)を行います。お茶を飲みながらアートや地域づくりについて地域おこし協力隊と語り合う、誰でも参加できるサロンです。活動の新しいアイデアが生まれたり、新しい仲間ができたりのかもしれません。お気軽にご参加ください！  
●PLAYCE内 福井市中央一丁目3-5 FUKUMACHI BLOCK 1階  
※詳細は追って事業団ホームページやSNSでお知らせします。

公開オーディション開催のご案内

令和7年度「若い芽コンサート2025」出演者および「越のルビーアーティスト」登録のための公開オーディションを開催します。皆様からのご応募、お待ちしております。

若い芽オーディション

若い芽コンサートは、音楽を学ぶ福井県ゆかりの中学生・高校生を対象に、プロの弦楽四重奏団との共演など、さらなるレベルアップの場を提供することを目的として2006年から毎年開催しています。当オーディションでは、2025年8月に開催する「若い芽コンサート2025」の出演者を選定します。

(主催：(公財)福井県文化振興事業団、福井新聞社)

越のルビーアーティストバンク登録オーディション

当バンクは、クラシック音楽のアーティストを必要とする県民の多様なニーズに応えるべく設置されました。登録者には、当事業団の主催事業での依頼をはじめ、県内企業・団体からの依頼演奏等の斡旋も行っています。また、公式サイトやリーフレットにて年間を通して広く紹介します。

(主催：(公財)福井県文化振興事業団 協賛：(公財)げんてんふれあい福井財団)

開催日時/2025年2月23日(日・祝) 10:00~16:00(予定)

会場/ハーモニーホールふくい 小ホール

部門/ピアノ、器楽・作曲、声楽

審査員/今川裕代(ピアニスト、大阪芸術大学教授、越のルビーアーティスト)

神田寛明(フルーティスト、桐朋学園大学教授)

河野典子(音楽評論家)

近藤 薫(ヴァイオリニスト、東京大学先端科学技術研究センター特任教授)

鈴木順子(東京芸術劇場副館長)

(敬称略・50音順)



募集要項▲



「若い芽コンサート2024」からフェスティバル・カルテットとの共演の様子。



募集要項▲



県内中学生・特別支援学校を訪問する「出張音楽室」の様子。

令和6年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー 成果発表会

小学生から大学生までの弦楽器を学ぶ子どもたちが、地元ゆかりのある講師とともに念願のステージに立ちます。若き音楽家たちの演奏をお楽しみに。

開催日時/2025年3月23日(日) 14:15開場 15:00開演

会場/ハーモニーホールふくい 小ホール

料金/入場無料(要整理券) ※2歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。

出演/福井ジュニア弦楽アンサンブル

講師/清水麗輝(指揮)、松谷由美(ヴァイオリン)、山口梨恵(ヴィオラ)、荒井 結(チェロ)、山内睦大(チェロ)

(協力：福井水仙オーケストラ)

整理券配布開始日  
1/18(土)10:00~



11/24「アウトリーチ・コンサート」の様子。  
会場：特別養護老人ホームあさむつ苑



上記2事業・お問い合わせ (公財)福井県文化振興事業団 事業部 TEL.0776-38-8289(9:00~19:00・休館日を除く)

編集後記

北陸新幹線開業を記念して行った「ウィーン・イヤ1291」。年末までに8つの企画を開催しました。ハイライトの「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」公演では満席のお客様が至福の響を堪能しました。小中高生対象の公開リハーサルを含め、その熱烈歓迎ぶりは楽団員にも伝わったようです。唯一音楽以外として企画したのが県内6店舗の菓子店が出店した「ウィーンの伝統菓子フェア」。多くの作曲家に愛された伝統菓子は連日完売の盛況ぶり。歴史と伝統は、ヨーロッパ文化史研究家・小宮正安氏による講座でハプスブルク家と音楽や経済との関わりを興味深く聴講。社会人になってからの学びに多くの感動の声も。令和7年も多くの出会いと喜びをお届けします。

「ハーモニーホールふくい 特別協賛社ご芳名」 ※50音順
公演協賛社(2024.4-2025.3)
URALA communications, 関西電力, 日華化学, 福井銀行, 福井新聞社, 福井テレビ, FUKUVI, ますも証券
法人協賛社
JAKUETS, 株式会社新内, 福井県民協, 福井銀行, 福井信用金庫, FUKUVI, 北陸銀行, 三井物産株式会社

15 ぐるーぶドルチェ ピアノ発表会
(土) ●小ホール ●13:45開演
●無料(関係者のみ)
◎ぐるーぶドルチェ 大久保
☎090-1390-0401

16 福井県雅楽会 第12回 雅楽公演
(日) ●大ホール ●13:00開演
●全席自由1,000円
◎福井県雅楽会 事務局
☎0776-22-1918

NPO法人 ふくい子どものための音楽教室 第13回 演奏コース発表会
●小ホール ●9:50開演
●無料(関係者のみ)
◎NPO法人 ふくい子どものための音楽教室
☎0776-97-6833

20 第48回 全日本アンサンブルコンテスト
(木・祝) ●大ホール ●9:00開演
●全席指定2,000円
(チケットあて販売/当日券の販売なし)
※未就学児入場不可
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

23 由紀さおり& 京都フィルハーモニー室内合奏団 オケストラコンサート
●大ホール ●14:00開演
●無料(要整理券)
◎福邦クラブ ☎0776-24-1022

令和6年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー 成果発表会
●小ホール ●15:00開演
●無料(要整理券)
◎(公財)福井県文化振興事業団 事業部
☎0776-38-8289

25 Friend ピアノおさらい会
●小ホール ●18:00開演
●無料(関係者のみ)
◎徳永ピアノ教室
☎090-4324-8832

28 福井県立高志中学校・高等学校 弦楽部 定期演奏会2025
●小ホール ●18:30開演 ●無料
◎福井県立高志中学校・高等学校
☎0776-24-5175

29 ハーモニーホールふくい オープンデイズ スプリング・フェスティバル
●大ホール ●12:00開演
●無料(要整理券)
◎(公財)福井県文化振興事業団 管理グループ
☎0776-38-8280

Clavier Studio Piano Concert
●小ホール ●12:30開演
●無料(関係者のみ)

30 ハーモニーホールふくい オープンデイズ スプリング・フェスティバル
●大ホール ●12:00開演
●無料(要整理券)
◎(公財)福井県文化振興事業団 管理グループ
☎0776-38-8280

第4回 音のバレットコンサート
●小ホール ●13:30開演
●無料(関係者のみ)

第39回 定期演奏会
●大ホール ●13:30開演
●全席自由500円
◎福井大学医学部管弦楽団
☎kangen.med.fukui@gmail.com

16 ふくい県民総合文化祭 第19回 福井県合唱ふれあい フェスティバル
●小ホール ●13:00開演
●全席自由1,000円
◎福井県合唱連盟 大瀬
☎0778-51-5856

22 啓新高等学校吹奏楽部 第3回 定期演奏会
(土) ●大ホール ●13:15開演
●入場無料-指定席(要整理券)
◎啓新高等学校 小野
☎0776-23-3489

令和6年度 認定こども園 梅園幼稚園 生活発表会
●小ホール ●11:00開演/②14:30開演
●無料(関係者のみ)
◎認定こども園 梅園幼稚園
☎0776-38-5811

23 「若い芽コンサート2025」 出演者オーディション 「越のルビーアーティストバンク」 登録オーディション
●小ホール ●10:00開演
●入場無料(事前申込不要)
◎(公財)福井県文化振興事業団 事業部
☎0776-38-8289

24 第30回 ビティナ・コンペティション福井地区予選 (月・休) 入賞者コンサート
●大ホール ●13:00開演
●全席自由800円
◎MPC楽器センター福井 PTNA福井支部事務局
☎0776-52-0711

28 令和6年度 福井大学教育学部音楽専攻生 卒業記念演奏会
●小ホール ●19:00開演
●無料(要整理券)
◎同演奏会実行委員会
☎kongakuka.grazie@gmail.com

1 フリージアコンサート
(土) ●小ホール ●10:00開演
●無料(関係者のみ)

2 廣津留すみれ トーク&ヴァイオリン・リサイタル
●大ホール ●15:00開演
●全席指定・車いす席4,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

ピアノ・エレクトーン発表会
●小ホール ●13:15開演
●無料(関係者のみ)
◎小林

8 ピアノ発表会
(土) ●小ホール ●14:45開演
●無料(関係者のみ)

9 福井大学医学部管弦楽団 第39回 定期演奏会
(日) ●大ホール ●13:30開演
●全席自由500円
◎福井大学医学部管弦楽団
☎kangen.med.fukui@gmail.com

ハーモニーホールふくい コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2025.1.2.3]

26 第58回 カワイ音楽コンクール 福井地区予選 (日) カワイうたのコンクールオーディション カワイピアノコンクール 予選会
●小ホール ●10:20開演(予定)
●無料(関係者のみ)
◎秋河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

31 ムーンナイトサーカス <<バラード>>
(金) ●小ホール ●18:30開演
●全席自由・車いす席3,500円
U-25(25歳以下):2,500円
U-15(15歳以下):1,000円
障害者手帳をお持ちの方& 介助の方1名まで1,000円
+1チケット(1口):1,500円
(3歳未満:路上鑑賞無料)
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

1 ムーンナイトサーカス <<バラード>>
(土) ●小ホール ●14:00開演
チケット情報は1月31日の開催情報をご覧ください

2 第38回 福井県ヴォーカルアンサンブル コンテスト
●小ホール ●10:00開演(予定)
●全席自由500円
◎福井県合唱連盟 大瀬
☎0778-51-5856

9 第48回 北陸アンサンブルコンテスト
(日) ●大ホール ●9:00開演
●全席自由1,300円(当日200円増)
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

11 ふくい県民総合文化祭 冬のマーチング・パトーン ふれあいフェスティバル ビートセッション2025
●大ホール ●13:30開演
●全席自由1,000円
◎福井県パトーン協会事務局
☎fukui\_baton\_association@yahoo.co.jp

15 <越のルビープロジェクト> 音楽xお芝居「リスト~愛の夢~」
(土) ●小ホール ●14:00開演
●全席指定・車いす席3,500円 (学生1,500円)
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

1月

5 東京チェロアンサンブル New Year Concert 2025
(日) ●大ホール ●15:00開演
●全席指定・車いす席6,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

11 第38回 福井地区吹奏楽 アンサンブルコンテスト
(土) ●大ホール ●10:00開演 ●無料

山崎智里 受賞記念リサイタル ~ Reminiscence ~
●小ホール ●14:00開演
●一般3,000円 大学生以下2,000円
◎山崎 智里
☎cheese0922@yahoo.co.jp

12 牛田智大 ピアノリサイタル
(日) ●小ホール ●14:00開演
●全席指定5,000円(当日500円増)
◎未就学児童の入場不可
◎エンタメスタイル
☎076-256-5538(平日11:00~17:00)

18 第72回 福井大学フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会
(土) ●大ホール ●13:30開演
●全席自由400円(当日100円増)
◎福井大学フィルハーモニー管弦楽団 松本
☎070-4167-4015

TSUKEMEN 15th Anniversary CONCERT ~BEYOND CLASSIC~ Supported by アダ設計
●小ホール ●14:00開演
●全席指定6,000円
◎未就学児童の入場不可
◎エンタメスタイル
☎076-256-5538(平日11:00~17:00)

19 全国で咲かせよう「大中 忍」作品の花 in ふくい ~混声合唱組曲「北国船」~
(日) ●大ホール ●13:30開演
●全席自由2,000円
(大人・子ども2名まで入場可)
◎福井大学グリーンエコー合唱団OB会
福井で「北国船」を歌う会 前川
☎090-3159-3540
☎kitakaisen2025-fukui@yahoo.co.jp

25 第58回 福井県吹奏楽 アンサンブルコンテスト
(土) ●大ホール ●10:00開演
●全席自由1,300円(会場にて当日券を販売)
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

第58回 カワイ音楽コンクール 福井地区予選 カワイこどもピアノコンクール オーディション
●小ホール ●10:20開演(予定)
●無料(関係者のみ)
◎秋河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

※□部は、当ホールの自主公演でP.3、P.4、P.7、P.8、P.14に見どころなどが紹介されています。(1/5、3/2は、小学生から大学生まで半額) ※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(12/4時点の情報です) ※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。